

GISA NEWS LETTER

地理情報システム学会ニュースレター 第109号

発行日 ● 2019年3月22日
発行 ● 一般社団法人 地理情報システム学会

目次

2019年度 GISA学会賞募集	1p
GISA学会賞「実践部門」の新設について	1p
学会からのお知らせ	2p
支部報告	3p

分科会報告	3p
学会後援行事等のお知らせ	3p
事務局からのお知らせ	3p

【2019 年度 GISA 学会賞募集】

【学会賞委員会委員長 阪田 知彦】

2019 年度地理情報システム学会賞の募集を行います。

2019 年度より、従来の 5 部門に加え「実践部門」を新設（後述）し、下記 6 部門で募集を開始いたします。

「研究奨励部門」
「学術論文部門」
「ソフトウェア・データ部門」
「教育部門」
「実践部門」
「著作部門」

全 6 部門になりました地理情報システム学会賞の応募資格および提出物の内容、受賞者選考・決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。

<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

ご応募いただいた書類を元に、学会賞委員会において候補者を選考し、理事会の議決により受賞者を決定します。選考結果は、9 月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、表彰式は本年 10 月 19 日（土）～20 日（日）に徳島大学にて開催される第 28 回研究発表大会で行われます。

いずれの部門も、応募期限は 2019 年 7 月 15 日（月・祝）で、提出先は地理情報システム学会事務局です。

自薦、他薦を問わず、積極的なご応募をよろしくお願いいたします。

【GISA 学会賞「実践部門」の新設について】

【学会賞委員会委員長 阪田 知彦】

地理情報システム学会賞は、2001 年度の研究奨励部門を皮切りに、2002 年度に学術論文部門、2004 年度にソフトウェア・データ部門、2005 年度に教育部門と著作部門の募集が開始されました。

このように、従来 5 部門で募集・選考を行ってきました地理情報システム学会賞ですが、近年多様な形態・分野での取り組みについての応募が見られ、その中でも既存の部門に当てはまるように工夫された応募が見られるようになってきて

いました。それらを既存の部門で表彰するか否かについて毎年選考の場での議論が交わされました。そこで、新たに非営利の実践的活動を通じて地理情報システムの発展や普及に大きな貢献をした活動への顕彰を目的とした「実践部門」を新設することといたしました。

新設にあたり、学会賞委員各位・事務局の皆様はじめ、理事会の皆様のご理解・ご協力に心から感謝申し上げます。

地理情報システム学会賞「実践部門」募集概要

（詳しくは学会ホームページをご参照ください）

1. 目的

実践的活動を通じて、地理情報システムの発展や普及に大きな貢献をした活動を表彰する。なお、個人だけでなく、団体や研究グループなども受賞対象とする。

2. 対象者

下記のすべてを満たす者とする。

- ①地理情報システムの発展や普及に関する非営利の実践的活動であること（ただし、営利企業が主体となつて行う非営利の活動の応募を妨げるものではない）
- ②個人の場合はその個人が地理情報システム学会正会員であること。団体や研究グループなどの場合は地理情報システム学会賛助会員もしくは活動の主要メンバーのうち 1 名以上が地理情報システム学会正会員であること
- ③当部門を受賞していないこと

3. 応募提出物

- ①応募者の氏名、所属・職階等、生年、メールアドレス、GIS 学会会員番号
- ②活動の概要の説明書（活動もしくは団体名称、代表者氏名・連絡先、設立もしくは開始時期、主要メンバー、活動内容等を A4 版で 2 枚以内）
- ③地理情報システムに関する実践にどのように貢献したかを A4 版 2 枚以内で述べた説明書
- ④受賞対象となる実践に関連する論文、解説、出版物などについての書誌情報
- ⑤④のうち、活動の概要を把握するのに最も適した資料 1 点（高額な書籍等は不可。PDF 化し電子媒体に格納したものを推奨）
<<中略>>

7. 選考方法

学会賞委員が上記の資料をもとに評価を行い、その評価を総合して学会賞委員会が若干名の候補者を決め（候補者なしの場合もありうる）、その候補者を理事会に推薦し、理事会の承認を得て地理情報システム学会賞「実践部門」の授賞者を決定する。

評価の視点

先進性	既成の概念にとらわれない先進的な取り組みであるか
独創性	地域や組織等の特性や諸課題を踏まえ、その解決にむけた独創的な取り組みであるか
模範性	他への参考になる模範的な取り組みであるか
継続性	単発にとどまらず、活動が継続的であるもしくは今後見込まれる可能性が大きい
発展性	同様の諸課題を抱えた活動主体に波及する取り組みであるか

【学会からのお知らせ】

■ 2019 年度一般社団法人地理情報システム学会定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日時：2019 年 5 月 11 日（土）15：30～16：30（予定）

場所：東京大学工学部 14 号館 2 階 144 教室
東京都文京区本郷 7-3-1

代議員以外の方で出席をご希望の方は、5 月 10 日（金）正午までに、事務局までご連絡ください。総会当日、資料をお渡しいたします。

■ 2019 年度学術研究発表大会のご案内 《予定》

2019 年度地理情報システム学会研究発表大会は、10 月 19 日（土）、20 日（日）の両日、徳島大学常三島キャンパスにて開催されます。

発表申し込みの手続き方法など詳細は、決まり次第、メールニュースや HP でご案内いたします。

（発表申込スケジュール：予定）

アブストラクト提出：7 月 1 日（月）～7 月 15 日（月）正午 必着

講演論文集用原稿提出：7 月 1 日（月）～8 月 30 日（金）正午

なお、昨年同様、学術研究発表大会における託児室開設も検討しております。大会の開催期間中、発表会場のキャンパス内で、依頼したベビーシッター（実績のある会社から派遣）にお世話を任せる形です。内容の詳細や正式の申し込みについては、決まり次第、メールニュースや次号ニューズレターでお知らせする予定です。お預かりするお子様の人数や年齢によって料金が変わりますので、まずは、おおよその利用希望人数の把握をさせて頂きたいと思います。ご利用を希望ま

たは検討される方、ご質問等は、**4 月 26 日（金）までに事務局へメールで**ご連絡ください。

■ 2019 年 IAG' i シンポジウム 《予定》

会期：2019 年 10 月 19 日（土）

会場：徳島大学常三島キャンパス

（第 28 回地理情報システム学会学術研究発表大会初日）

詳細は決まり次第、次号ニューズレターおよびメールニュースや HP でご案内いたします。

■ JpGU-AGU Joint Meeting 2019

会期：2019 年 5 月 26 日（日）～30 日（木）

会場：幕張メッセ及び東京ベイ幕張

早期参加登録：5 月 8 日（水）23:59 まで

詳しくは… http://www.jpгу.org/meeting_2019/

なお、当学会関連セッションは以下のとおりです。

●5 月 30 日（木）午前

H-TT23「地理情報システムと地図・空間表現」

●5 月 30 日（木）午後

H-TT19「Geographic Information Systems and Cartography」

■ 2019 年度初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰について（予告）

2019 年度も表記の表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下の URL でご確認ください。2017 年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<http://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：2019 年 7 月 1 日（月）～8 月 30 日（金）17：00 必着

表彰（原則各 1 点以内）：

国土交通大臣賞（総合的な観点）

地理情報システム学会賞（GIS の効果的な活用の観点）

日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）

主催・共催・協賛など（予定を含む）：

主催：一般社団法人地理情報システム学会

後援：国土交通省国土政策局、一般財団法人日本地図センター、一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社

協賛：ESRI ジャパン株式会社

選定された個人またはグループの代表には、2019 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）に徳島大学（徳島）にて開催される「第 28 回地理情報システム学会学術研究発表大会」内で表彰式を執り行うとともに、事例発表もしていただくことを予定しています。なお、事例発表者の旅費等については主催者側で全部または一部を負担の予定です。

【支部報告】

■ 東北支部

【井上 亮】

<東北支部研究交流会 開催報告>

2018年12月12日(水)に東北大学・青葉山キャンパスにて、東北支部研究交流会を開催し、東北地方の大学の研究者や学生から、計6件の話題提供が行われました。合成開口レーダーデータを用いた農産物の収量予測、MODIS データを用いた内湾の水質推定、人口データを用いた都市構造変化の分析、通勤流動データを活用した高空間解像度の東日本大震災の死亡率推定、ウェアラブルデバイスによる観光周遊データの観測、機械学習手法を活用した地域分析手法の提案のように、地理空間情報に関する多岐にわたるテーマについて研究紹介が行われ、20名の参加者を得て活発に議論されました。

【分科会報告】

■ 若手分科会

【相 尚寿】

<今年もやります「学生フリーテーマ発表会」>

若手分科会では2018年大会で「学生フリーテーマ発表会」を企画しました。発表者は学生に限定し、事前公募ののち分科会メンバーによる投票で決定しました。この発表会は、通常セッションと異なり様々な分野の発表を一度に聴けるようにすること、学生のみなさんに学会発表のきっかけを提供することを目指しています。2019年大会でも「学生フリーテーマ発表会」を企画する予定です。発表募集に際しては、学会ホームページやメールニュースなどでお知らせします。ぜひ発表を検討してください。若手分科会に参加を希望される方は遠慮なく代表の相(hisaai@sis.u-tokyo.ac.jp)までお知らせください。学生だけでなく、企業の方、大学教員など30名ほどが参加しています。

学会後援行事等のお知らせ

■ 第15回GISコミュニティフォーラム(後援)

主催: ESRI ジャパンユーザ会

会期: 2019年5月23日(木)~24日(金)

プレフォーラムセミナー: 5月22日(水)

会場: 東京ミッドタウン(六本木)

詳しくは...

<https://www.esri.jp/events/gcf/gcf2019/>

(4月上旬登録開始予定)

■ 空間情報シンポジウム2019(共催)

主催: 株式会社インフォマティクス

会期: 2019年7月10日(水)~8月7日(水)

会場: 東京、大阪、名古屋

詳しくは... <http://www.informatix.co.jp/>

(当該シンポジウムのサイトオープンは4月を予定)

■ 第29回国際地図学会議

(The 29th International Cartographic Conference) (後援)

主催: 第29回国際地図学会議組織委員会

会期: 2019年7月15日(月)~20日(土)

会場: 日本科学未来館、東京国際交流館プラザ平成

詳しくは... <http://icc2019.org/index.html>

【事務局からのお知らせ】

■ 2019年度年会費納入のお願い

今号は、年会費納入方法が郵便振込の会員の方々に、2019年度分(2019年4月1日~2020年3月31日)年会費の郵便振込専用用紙を同封しております。**納入期限は4月30日(火)**です。お早めにお手続きください。

年会費は正会員10,000円、学生会員5,000円です。

期限に遅れますと、6月発行のニューズレター110号および『GIS-理論と応用 Vol. 27-No. 1』の送付が停止されるほか、ホームページの会員専用コンテンツの閲覧が出来なくなります。

なお、新年度から年会費の**口座振替をご希望の方は、4月19日(金)までに、事務局に申込用紙をご請求ください。**

■ 学生会員さんへ 学生証のコピー提出のお願い

4月以降も学生の方は、**新年度に入ってから**学生証のコピーを事務局までご提出ください。**4月30日(火)必着**、FAXまたはメール添付(jpgかpdfまたは写真)をお願いします。学生会員の方には、別途、詳細を連絡済みですので、必ずご確認ください。

※コピーは「氏名」「発行者」「有効期限」が分かるように取ってください。

※コピーの余白に「学部生」「修士課程」「博士課程」の別を明記してください。

※2018年度に提出された方も、再度ご提出ください。事務局で確認後、以前のものは既にシュレッダー裁断しています。

※学生証が4月中に発行されない場合は、その旨、事務局までご連絡ください。

■ 会員登録変更・退会等について(既報)

2019年度分(2019年4月1日~2020年3月31日)年会費の**口座引き落とし日は6月27日(木)**です。口座残高のご確認をお願いいたします。

年会費は正会員9,000円、学生会員4,000円です。

■ 会員登録変更・退会等について(既報)

現在の会員登録の状況は、学会ホームページの会員専用ページから、ご自分で確認・変更することが出来ます。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

なお、学会web等で既にご案内のとおり、退会を希望される場合は確認事項がありますので、まずは事務局までご連絡ください。年度は毎年、4月1日から翌年3月末日までです。2018年度一杯で退会希望の方は、2019年3月末日までに手続き完了が必要です。(2019年4月1日から、新年度の学会費が発生します)

2019 年 2 月末現在の個人会員 1125 名、 賛助会員 55 社

賛助会員

アクリーグ(株), 朝日航洋(株), アジア航測(株), アドソル日進(株), いであ(株), (株)インフォマティクス, ESRI ジャパン(株), NTT タウンページ(株), 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術(株), 大阪土地家屋調査士会, (株)かんこう, 関東甲信越東海GIS 技術研究会, (財)岐阜県建設研究センター, 九州GIS 技術研究会, 近畿北陸G 空間情報技術研究会, (株)こうそく, 国際航業(株), 国土情報開発(株), (株)古今書院, GIS 総合研究所いばらき, ジェイアール西日本コンサルタンツ(株), (株)ジオテクノ関西, (株)ジオプラン, (株)昭文社, (株)ジンテック, (株)ゼンリン, (株)ゼンリンジオインテリジェンス, (株)谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタント(株), 中四国GIS 技術研究会, デジタル北海道研究会, 東北GIS 技術研究会, (株)ドーン, 長野県GIS 協会, にいがたGIS 協議会, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ(株), (財)日本測量調査技術協会, (財)日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ(株), (株)パスコ, 阪神高速技研(株), 東日本総合計画(株), 北海道GIS 技術研究会, (株)マップクエスト, (株)松本コンサルタント, 三菱電機(株), 三菱UFJ リサーチ& コンサルティング(株), (財)リモート・センシング技術センター
自治体会員 : 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, (独)統計センター, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- | | |
|--|--|
| ●自治体：浅野和仁（大阪府富田林市）
事務局：青木和人（おおきgis研究所 Tel 050-5850-3290）
E-mail：kazu013057@gmail.com
●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所 Tel 03-5379-5601）
E-mail：kohsaka@npo-giti.com
●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333）
E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
●時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学 Tel 072-875-3001）
E-mail：yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp | ●地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京 Tel 042-677-2601）
E-mail：wakaba@tmu.ac.jp
●セキュリティSIG：内布茂充（行政書士 内布事務所 Tel 090-2284-4125）
E-mail：spcn87q9@royal.ocn.ne.jp
●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株) TEL049-244-4032）
E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp
●若手分科会：相尚寿（東京大学 Tel 04-7136-4302）
E-mail：hisai@ccsis.u-tokyo.ac.jp
●IoTとGIS：巖網林（慶應義塾大学 Tel 0466-49-3453）
E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp |
|--|--|

地方支部の連絡先一覧

- | | |
|--|---|
| <北海道支部>
支部長：小樽商科大学 深田秀実
Tel：0134-27-5399, E-mail：fukada@res.otaru-u.ac.jp
<東北支部>
支部長：東北大学 井上亮
Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp
<中部支部>
支部長：中部大学 福井弘道
連絡先：杉田暁（中部大学）
Tel：0568-51-9894（内線 5714）, E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp
<関西支部>
支部長：大阪工業大学 吉川眞
連絡先：田中一成（大阪工業大学）
Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp | <中国支部>
支部長：広島修道大学 川瀬正樹
Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp
<四国支部>
支部長：愛媛大学 Netra Prakash Bhandary
Tel：089-927-8566, E-mail：netra@ehime-u.ac.jp
<九州支部>
支部長：九州大学 三谷泰浩
Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
<沖縄支部>
支部長：琉球大学 町田宗博
E-mail：machida@ll.u-ryukyu.ac.jp
連絡先：澤崎 直彦（特定非営利活動法人沖縄地理情報システム協議会）
Tel：098-863-7528, E-mail：takushi@nansei-m.co.jp |
|--|---|

■ 編集後記 ■

本号で、久々にニューズレターの編集に携わることになりました。初めてお引き受けしたのは今から約 10 年前のことでしたので、慌ててメールのログなどを見返し、事務局の方々にサポートいただきながら、なんとか紙面を作り上げるに至っています。原稿作成にご尽力いただいたみなさま、事務局のみなさまには、あらためて感謝申し上げます。

これまで、あまり過去のことを振り返らず過ごしてきましたが、編集作業を通じて少し省みる機会もいただけたようです。約 10 年前には右も左もわからずに、唯々ひたすら前向きに編集に取り組む自分がいたり、相も変わらずボーッとしている自分もいたり... あっという間に過ぎ去ったようでしたが、いろいろな気づきをいただく機会に恵まれたしいです。

熊谷 樹一郎

地理情報システム学会ニューズレター

第 109 号 ●発行日 2019 年 3 月 22 日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階

TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org

URL: <http://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

文学の研究を志したその人は、女子大（みなさんが思い浮かべる女子大は、戦前は大学「格」を付与されなかった）を卒業すると、当時、国内で唯一女子学生を受け入れていた東北帝国大学に進学した。しかしながら時は第二次世界大戦の最中、既に日本の敗色濃厚で、ゼミの男子学生は学徒出陣に駆り出される羽目に陥っていた。そして戦死の報が届く。研究室には彼の書きかけの論文が、遺品のように残された。『源氏物語』の論文であったという。『源氏物語』は当時、不敬であるとの理由で軍部の弾圧を受け、禁書扱いであった。それでも日本文学を論じる上で、避けることなど不可能な作品である。「いつか、研究できる日が来る。その日が来なくても、研究しなければならぬ」彼の無念を理解した研究室内は、悔しさに包まれたという。

彼女から直接、聞いた話ではない。学生の無茶、殊に研究上のことについては、何事も穏やかに受け止め「好きで続けていれば、何とかかなと思うのよ」と、おっとり微笑む彼女の内にいる強い意志など、学生当時の私には予想もつかないことだった。水面に漣ひとつ立つて難事をやってのける、と評された彼女は、戦争の対極に位置する存在としての文学を、その人生の最後の一時まで研究し続けた。

学会の事務局で仕事をしていると、折に触れて思うのだ。研究が、ただただ研究者の良心にのみ従ってなされますように、と。地位や名誉や金銭にまみれませんように、と。（学会事務局）